

人生を輝かせる山登りのススメ(第14回)

見たままの感動をうまく撮るコツ5つ

2016.08.25

山に行ってきれいな景色に出会ったら、それを写真に残したいと思う人も多いでしょう。でも、家に帰ってきて撮った写真を見てみると、あれ？ イメージ通りに撮れていない……ということ、ないですか？

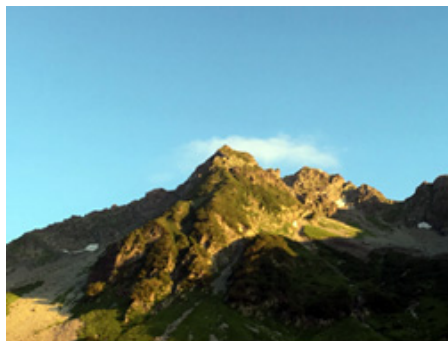
今回は、山の写真を失敗なくキレイに撮るポイント5つを紹介します。レンズの絞りやシャッタースピードなど、カメラの難しい機能には触れず、スマートフォンのカメラアプリでもすぐに実行できるコツをお伝えします。あと1カ月もすると高山は紅葉に彩られはじめ、最も華やかな季節を迎えます。印象に残る写真を撮って、思い出に残しましょう。

ポイント1: 山を高く見せたいなら、空を入れすぎない

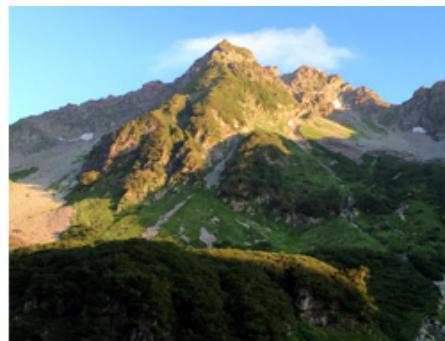
山の上に真っ青な空が広がっていたら、最高に気持ちがいいですね。そんなときはついつい空を大きく入れて写したくなるもの。でも、そこで欲張ってはダメです。

写真の主役は山なのか、空なのか、そのどちらかに決めましょう。両方を撮ろうとすると、中途半端な写真になってしまいがちです。印象に残る写真を撮るポイントは、本当に撮りたいものだけに絞ることです。

質問:<写真1>と<写真2>を見比べてみてください。山が高く見えるのはどちらでしょうか。



<写真1>



<写真2>

<写真1>は空を大きくした分、山は小さくなってしまいました。一方で<写真2>は画面に大きく山が入り、山も大きく見えます。

このように、主役を山にする場合、空は多くても全体の4分の1程度にするとよいでしょう。空を大きく入れると、その分、空間ができて、力の抜けた写真になってしまいます。高く、迫力ある山を表現する場合は、空を大きくせず、山を画面いっぱいに入れるのがポイントです。

ちなみに山の写真で空を主役にするのは、単調になりがちで、難易度は高めです。挑戦するなら天候の変わり目など、雲に表情があるときを狙うとよいでしょう。

ポイント2: 縦か横か、違いを考える… 続きを読む